

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 4日

事業所名 おおいちフォア・アス1単位目

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	・決して広いとは思わないが、職員同士で話し合い、その日その日のベストな部屋割りを考えている。	・死角になる場所もあるため、支援者の目が行き届くように配慮している。 ・もっと個室があればとも思うが、広すぎても個室ばかりでも大変だと思う。
	2	職員の配置数は適切である	6	1		・基準上は適切であるが、子どもたちの支援のための職員数を考えると足りていないと感じる。 ・時々、少ないな、居てくれたらなと思うことはある。 ・職員数は不足していると思う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	4		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		・外部の研修に参加できていない。子どもの支援、職員体制のために参加する余裕がない。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1		・本人の安定やスムーズな切り替えのため、固定化してしまう場面もある。 ・固定しないように工夫はしているが、外出先の選択肢が少ないため困っている。なるべくイベント情報を集めるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		・基本的には終了後に確認しているが、必要な場合は開始前にも行っている。 ・長期休みなど日によっては子どもがいて打ち合わせができないこともある。 ・正職員同士だけでなく、パートさん、アルバイトさんにも伝達漏れがないよう日々気を配っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	・児童の様子や家庭からの情報を共有できるようにしている。 その日に出勤していなかった職員が閲覧できるように記録にも残している。	・日によっては職員が揃わなくてできないこともある。時間が経ってからになってしまうこともある。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 4日

事業所名 おおいちフォア・アス1単位目

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0		・夏休み中は記録の時間が取れない時もあるため、気になったことやポイントだけでも必ずメモに残すようにしている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0		
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	3		
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0		・学校と共有する機会は少なく、保護者からの情報提供によって把握している。連絡できる体制は整えている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	4		・現在医療的ケアが必要な児童を受け入れていない。 ・分からない。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2		
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	3		・機会は少ないが、情報提供は行っている。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4		
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	4		・地域のイベントに参加したり、外出先での交流はある。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	6		・参加できる時はしている。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	・送迎時や連絡帳、電話やラインなど、共有できる機会は多い。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	5		・ペアレントトレーニング等のスキルがなく、実施できていない。
保護	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	2		・利用開始時には必ず行っている。保護者から問い合わせがあった場合は随時説明を行っている。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1		・適切な助言ができていだろうかと感じることもある。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6		・保護者同士の連携については支援できていない。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 4日

事業所名 おおいちフォア・アス1単位目

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1		・法人の会報誌にて活動内容等を載せているが、インスタグラムやブログの更新はできていない。
	35	個人情報に十分注意している	7	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4		・地域住民も参加できる行事は行っていないため、かかわりは少ない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	3		・保護者へは契約時に説明を行っているのみになっており、周知とは言えないかもしれない。 ・保護者まで周知しているかと言われたら完全ではないと思う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	・月に1回実施することで、利用児童が年に2回参加できるようにしている。	・年に一度、ビル内の全ての職員を対象にした避難訓練(通報訓練)を行っているが、勤務の関係で全員参加できていない。全員参加できるように検討していきたいと考えている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0		・外部への研修に参加することが難しいため、事業所内にて研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1		・医師の指示を受けた保護者からの情報により、対応している。 ・アレルギーのあるもの等気をつけている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	・ちよつとした出来事でも記録に残すようにしている。	